

がほとんどである。ワーカー達にとって最適時代によって変わるものでは無いからだ。庫がある。そして、このラストライブラリーの開発担当者がラストに加えた修正を記録しているラストの各寸法を定期的に計測し、その



#### LAST Munson

20世紀初頭、マンソン博士が米国陸軍学校で教授をしていたときに、歩兵部隊用ブーツのために開発した。彼は4年かけ、約二千人もの足と、数千足の靴のフィッティングについて調べ、このラストを完成させた。最大の特徴は、足の指先に沿うよう設計されたつま先の形状。足先を締め付けないため、万人にとって履き易く、外反母趾やハンマートゥといった症状が起こりにくい。ワークブーツにも適していたため、1920～60年にかけて、レッド・ウイングでも多くのブーツに使われた。



#### LAST No.23

つま先がソールに対して垂直に立ち上がり、つま先上部ではモカの縫い目に沿うようにエッジが付けられた、モックトゥブーツ用のラスト。このラストも開発された年代は定かではないが、1952年に開発された877にも使用されていることから、その歴史は60年以上と考えられる。ヴァンプとプラグ、2つのパーツで構成されるモカシンを施すことで、革に負荷をかけることなくつま先にゆとりとした箱のような空間をつくり、足への締め付けを軽減し甲高な足にフィットするラストとなっている。



#### LAST No.45

2003年、フットベッドを挿入することを前提に、ラストの底面部に一定の厚みを設けられたモックトゥブーツ用のラスト。#23ラストと同様につま先は底面から垂直に立ちあがり、モカ部にはエッジがつけられている。ゆったりとしたつま先の空間は甲高な足にフィットするが、#23ラストと比べると高さよりも横幅を広くするように設計されているため、幅の広い足にフィットする設計となっている。



#### LAST No.50

1971年、ヒールが高く設計されたスティールトゥブーツであるロガーブーツやエンジニアブーツ用に開発されたラスト。このラストがつくられるまでは、ソフトトゥ用の#40ラストを使用してこれらのブーツがつくられていた。しかし、スティールトゥとソフトトゥでは靴の作り方が異なるため、#40ラストをベースに鋼製先芯がしっかりとラストにフィットするよう改良されたスティールトゥ専用の#50ラストが開発された。



#### LAST No.522

1984年、スーパーソール製法を採用したスティールトゥブーツをつくるために開発されたラスト。つま先を保護することを最優先に考えてつくられていて、つま先周りは非常にゆったりとしているが、逆に土踏まず部は比較的きつめに設計されたラストとなっている。現在では、つま先にゆったりとしたボリュームを持たせたいソフトトゥブーツにも使用されている。



#### LAST No.8

このラストが開発された正確な年代は特定できていないが、1940年代のブーツにはすでに使用されている。現在でもレッド・ウイングで使用されているラストの中では最古のラストと思われる。つま先部に十分な厚みをもたせたこのラストは、指先を無理に締めつけず圧迫感を感じさせないため、ラウンドトゥやキャップドトゥ、レース・トゥー・トゥ等、多くのモデルに使用される。また、土踏まず部を深めにぐげれさせ、この土踏まず部のフィッティングを高めるような設計となっている。



#### LAST No.210

ポリスマンやポストマンに供される、ドレスシューズタイプのユニフォームシューズやサービスシューズをつくるために開発されたラスト。1954年に発売されたポストマン101にも使用されている。その後、そのベーシックな形から、ドレスタイプの靴だけではなく、ワークチャッカやレースアップのブーツなど幅広いモデルに使用されるようになった。比較的、土踏まずの高い足にフィットする設計となっている。



#### LAST No.17

1982年に開発されたこのラストは比較的新しいラストではあるが、そのルーツはヘコスブーツが開発された1950年代にまで遡る。ヘコスブーツは当初ローバードのため開発されたため、大地で踏ん張り易く、ようようヒールは低く、つま先もゆとりめなウエリントンと呼ばれる形状の#71ラストが開発された。この#71ラストをグッドイヤー・ウエルト製法だけでなく、スーパーソール製法にも対応できるように微調整を施したものが#17ラストとなる。



#### LAST No.72

ヘコスブーツを乗馬にも対応できるようにしたラスト。鏝につま先を通しやすくするため、つま先は細めとなっており、高いヒールを付ける設計となっている。このラストは1963年に発売された1177に初めて使用されたが、この1177は現在でも販売している8155の革違いのモデルとなる。ブーツレースを使わないヘコスブーツ専用のラストのため、甲回りがきつめの設計となっている。